

推薦を受ける者又は応募する者						推薦をする者							推薦又は応募の理由	
氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の状況	法第138条第5項の漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	氏名又は名称	職業又は目的	年齢	性別	代表者又は管理人の氏名	構成員の数(人)		構成員たる資格等
宇戸田為二	漁業	64	男	昭和46年3月 北浦町立北浦中学校卒業 昭和46年4月 漁業就業 平成26年3月 独立行政法人国際協力機構 マレーシア定置網敷設現地指導員 平成28年3月 北浦漁業協同組合理事 平成31年3月 北浦漁業協同組合筆頭理事	小型定置網漁業	該当	北浦漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	宇戸田定信	531	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	49年間、漁業に従事しており、漁業の現場に精通している。地元漁業者からの人望が厚く、調整能力に優れている。漁協の筆頭理事であり、指導力に優れている。以上のことから、漁業調整委員として推薦する。
中島耕成	漁業	64	男	昭和54年3月 中央大学卒業 昭和56年4月 漁業就業 有限会社鶴島網 平成19年3月 島浦町漁業協同組合理事	まき網漁業	該当	島浦町漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	岩田末幸	208	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	40年間まき網漁業に従事しており、漁業の現場に精通している。宮崎海区の漁業調整委員を3期経験しており、調整能力に優れている。漁協の理事経験者であり、指導力に優れている。以上のことから、漁業調整委員として推薦する。
黒木巧	漁業	61	男	昭和50年3月 門川町立門川中学校卒業 昭和53年11月 漁業就業 平成15年4月 門川漁業協同組合代表理事組合長 平成15年4月 公益財団法人海上保安協会細島支部監事 平成25年6月 宮崎県JF共済推進本部運営委員 令和2年6月 宮崎県信用漁業協同組合連合会会長 令和2年6月 公益社団法人宮崎県漁村活性化推進機構理事	小型底びき網漁業	該当	門川漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	黒木巧	35	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	長年の漁業の経験と、海区委員の実績及びその経験がいかせるものと思われ推薦するもの。
							庵川漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	久保崎幸義	63	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	
一政伸壽	漁業	57	男	昭和53年3月 川南町立国光原中学校卒業 昭和53年4月 漁業就業 平成11年6月 川南町漁業協同組合監事 平成23年3月 川南町漁業協同組合理事	延縄漁業	該当	川南町漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	溝口吉治	208	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	一政氏は、昭和53年から現在に至るまで漁業(延縄漁業)に従事し地域漁業の実態に精通するとともに、平成11年から平成23年まで当組合協監事、平成23年から現在に至るまで当組合の理事、平成24年から現在に至るまで宮崎海区漁業調整委員を務めるなど、長年にわたり地域の漁業調整に深く関わる役職を経験してきた。地域の漁業者や漁業関係者からの信頼も厚いことから、地域の漁業者を代表する者として、引き続き宮崎海区漁業調整委員の職務を全うできると考えられるため。
田中義美	漁業	65	男	昭和48年3月 宮崎県立日向工業高校卒業 昭和52年10月 日本プロイラー株式会社 昭和56年4月 富島漁業協同組合 平成3年10月 漁業就業 平成18年8月 日向市漁業協同組合監事 平成21年3月 日向市漁業協同組合理事	まぐろ延縄漁業	該当	日向市漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	是澤喜幸	236	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	昭和56年より旧富島漁協に入組各種業務に従事、平成3年に組合員加入後家業であるマグロ延縄漁業に従事するとともに平成17年から監事・理事を歴任し豊富な知識と経験を生かし、日夜尽力され漁協運営等に貢献してきた。地域漁業者からの信頼も厚く、これまでの経験と実績を生かし、地域漁業の発展に向けて意欲的に活動することができる方である。
松岡勝志	漁業	61	男	昭和56年3月 熊本工業大学機械工学科卒業 昭和56年4月 漁業就業 有限会社中沢水産 平成6年2月 赤江第一漁業生産組合理事 平成6年11月 有限会社中沢水産取締役 平成8年2月 有限会社松岡水産に社名変更登記 同社取締役 平成14年6月 宮崎漁業協同組合監事 平成15年2月 有限会社松岡水産代表取締役 平成17年6月 宮崎漁業協同組合理事 平成29年6月 宮崎漁業協同組合代表理事組合長	機船船びき網漁業	該当	宮崎漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	松岡勝志	104	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	その者の有する漁業の知識、経験、更に人格が漁業調整委員にふさわしいと認められるため。
							宮崎市漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	矢部廣一	71	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	
							檉浜漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	土居正和	29	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	

推薦を受ける者又は応募する者						推薦をする者							推薦又は応募の理由	
氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の状況	法第138条第5項の漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	氏名又は名称	職業又は目的	年齢	性別	代表者又は管理人の氏名	構成員の数(人)		構成員たる資格等
金川淳一	漁業	75	男	昭和41年3月 宮崎県立水産高等学校卒業 昭和41年4月 漁業就業 平成17年3月 有限会社金川水産代表取締役 平成23年3月 宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会理事 平成27年12月 日南市漁業協同組合組合員資格審査委員	近海かつお一本釣漁業	該当	日南市漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	濱上貢	114	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	宮崎県沖合から九州西沖までを主な漁場とし、永年かつお一本釣り漁業を営まれた。また、本県沿岸漁業者と漁場を共有するなか資源を有効活用し漁業の安定向上に努めるとともに、後継者の育成にも尽力され本県水産産業の発展に寄与したものである。
小玉秀明	漁業	60	男	昭和57年3月 東洋大学卒業 昭和57年4月 日産船舶株式会社 昭和62年4月 礼互木材株式会社 昭和63年1月 外浦漁業協同組合 平成26年3月 外浦漁業協同組合参事 令和2年2月 漁業就業 外浦漁業協同組合代表理事組合長	貝類垂下式・藻類養殖業	該当	外浦漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	小玉秀明	89	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	被推薦者は、長年にわたり漁協職員として漁業の発展に寄与し、漁業調整に携わってきた経験があり、また本年2月より当組合の代表理事組合長の職責にあることから適任と思われ、推薦いたします。
							南郷漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	江藤久義	188	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	
							栄松漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	阪元政美	59	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	
東修	漁業	58	男	昭和52年3月 宮崎県立高等水産研修所卒業 昭和52年4月 漁業就業 平成5年6月 串間市東漁業協同組合監事 平成11年6月 串間市東漁業協同組合理事 平成22年2月 有限会社東水産代表取締役 令和2年6月 串間市東漁業協同組合筆頭理事	大型定置漁業	該当	串間市東漁業協同組合	水協法に基づく団体	-	-	門田國光	63	法第138条第5項に規定する漁業者又は漁業従事者	当漁協の筆頭理事であり、長年漁業に従事されている為。
吉田照豊	大学教員	59	男	平成3年3月 鹿児島大学大学院連合農学研究科水産資源科学専攻修了 水産学博士 昭和62年5月 大分県漁業公社 平成3年4月 宮崎大学農学部助手 平成7年 宮崎大学農学部准教授 平成24年4月 宮崎大学農学部教授	-	非該当	-	-	-	-	-	-	平成20年8月より、現在まで宮崎海区漁業調整委員を務めてきた。そのため、海区漁業調整委員会の業務の内容について熟知していると共に、改訂漁業法の内容も承知している。今後、宮崎海区漁業調整委員会において、議論あるいは調整するべき課題もある程度承知している。また、専門分野は養殖魚の感染症であるために、養殖業に関わる問題点も理解している。ゆえに、宮崎海区漁業調整委員に応募する次第である。	
田中竜介	大学教員	50	男	平成4年3月 独立行政法人水産大学校卒業 平成9年10月 独立行政法人水産大学校助手 平成14年3月 農学博士(九州大学) 平成17年1月 独立行政法人水産大学校講師 平成22年4月 独立行政法人水産大学校准教授 平成25年2月 宮崎大学農学部海洋生物環境学科准教授 平成29年4月 宮崎大学農学部海洋生物環境学科教授 平成30年4月 宮崎大学農学部海洋生物環境学科長 令和2年4月 宮崎大学農学工学総合研究科生物機能応用科学専攻長	-	非該当	-	-	-	-	-	-	本委員への応募理由として、これまでの水産業に関わる研究を通じて、日本、特に地域の漁業は停滞傾向であることを感じており、水産行政を支援する形として水産業の発展に貢献したいと考えているためである。改正漁業法が本年12月に施行されるにあたり、改正法のもと漁獲可能量による漁業資源の管理と漁獲割当てが設定され、これに基づき新しい漁業許可制度と漁業権制度が施行される。本委員会は、改正法に基づき漁場計画の策定、漁業権の免許、漁業者への漁獲量の調整や制限など、資源管理に関する計画の策定等について、知事の諮問機関として、調査審議を行う委員会と認識している。委員会は、漁業者代表を中心とした組織であるが、持続可能な漁業の構築と水産業を基盤とした地域社会振興を目指す観点から、学識経験者として本県の水産業に関わる諸問題に関して適切な判断と新たな提言を行っていくことも考えている。	
田原健	団体役員	63	男	昭和55年3月 宮崎大学卒業 昭和56年4月 宮崎県庁 平成20年4月 宮崎県立高等水産研修所所長 平成26年4月 宮崎県水産政策課漁業・資源管理室長 平成27年4月 宮崎県漁村振興課長 平成28年4月 宮崎県水産政策課長 平成29年4月 宮崎県水産試験場長 平成30年4月 一般財団法人宮崎県水産振興協会常務理事	-	非該当	-	-	-	-	-	-	水産業は組合員の減少や高齢化、産地市場や組合組織の衰退等構造的な問題に加え、地球温暖化による漁場環境の変化等多くの困難な課題に直面している。このような中で、これらの課題の解決に向けて適切に取り組むことはもちろん重要であるが、当面の問題として、現状の中で如何に海面の有効利用を進め、漁業の生産性を上げて行くかが重要であることから、これまでの経験を基に漁場利用の効率化に資する漁業調整委員会の役割の一端が担えればと考えている。	

推薦を受ける者又は応募する者					推薦をする者								推薦又は応募の理由		
氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の状況	法第138条第5項の漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	氏名又は名称	職業又は目的	年齢	性別	代表者又は管理人の氏名	構成員の数(人)		構成員たる資格等	
山田卓郎	団体職員	63	男	昭和54年3月 宮崎大学卒業 昭和54年4月 宮崎県庁 平成19年4月 宮崎県立高等水産研修所所長 平成20年4月 宮崎県水産政策課漁業調整監 平成21年4月 宮崎県漁港漁場整備課長 平成23年4月 宮崎県水産試験場長 平成26年4月 宮崎県農政水産部次長(水産担当) 平成28年4月 公益財団法人宮崎県漁村活性化推進機構事務局長 平成28年6月 公益財団法人宮崎県漁村活性化推進機構専務理事兼事務局長	-	非該当	-	-	-	-	-	-	-	-	現在、宮崎県漁村活性化機構の専務理事として、本県水産業振興を図るため、新規就業者の育成・確保や沿岸漁業の経営安定等を図るための各種事業に、水産関係団体の立場で取り組んでいる。 ところで、本県沿岸漁業は、就業者の減少、既存漁業者の経営の脆弱化が課題であり、本県水産業の発展には、日向灘の水面の総合的利用と漁業生産力の発展に貢献できる海区委員会は不可欠な機関であると認識している。 今回、海区漁業調整委員会の委員が公募されるとの情報を知り、これまで培った経験や現在取り組んでいる各種事業の経験を、本県水産業振興のために役立てられないかと考え、学識経験委員として参画したく応募した。
出山実	大学教員	38	男	平成18年3月 麗澤大学国際経済研究科政策管理専攻修了 平成18年4月 NPO法人企業社会責任フォーラム研究員 平成19年4月 麗澤大学国際経済学部非常勤講師 平成20年4月 情報科学専門学校非常勤講師 平成21年4月 宮崎産業経営大学経営学部専任講師 平成27年4月 宮崎産業経営大学准教授	-	非該当	-	-	-	-	-	-	-	-	漁業の在り方は持続可能性問題の根本をなすものと認識しています。これまで漁業調整委員を務めていただいた中で、SDGsで問われている「海の豊かさを守ろう」を実践すると同時に、漁業者の足元の生活を豊かにしていくための漁業の在り方を求めていく必要性を強く感じています。漁業法改正のもとでも、海と漁業者、そして消費者の持続可能な関係が維持できるのかを注視したいと思い、この度応募いたしました。 もし選ばれた際は、中立委員として、議論の内容が持続可能性のバランスの中にあること、そして誰にとってもメリットがあるような着地点を見つけていくことなどを意識しながら委員会に参加していきたいと考えております。
山崎宏	無職	68	男	昭和50年3月 宮崎大学卒業 昭和50年4月 延岡市役所 平成24年3月 延岡市農林水産部副参事兼水産課長退職 平成25年7月 延岡市高速道対策課(嘱託) 平成27年10月 介護老人保健施設昭和苑事務長	-	非該当	-	-	-	-	-	-	-	-	県民の共通の財産であり、漁業者の生活の糧でもある水産資源を取り巻く環境は、地球温暖化や他国との漁獲競争など大変厳しくなっています。 将来に向かって、持続的な漁業を営むためには、厳しい資源管理により、資源の保護と増殖を図る必要があり、このことが水産資源を占有している漁業者が、県民から理解を得られる唯一の方法だと思えます。 海区漁業調整委員として、漁業への理解を深めながら、県民の立場から妥協できる方向を模索していきたいと思ひ応募しました。